

宇部市の内部環境

生活環境

まちづくりの目標

市民一人ひとりが宇部  
づくりの主演として、  
「人と緑と環境」にやさしいまちを目指す。

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>【現状】</p> <p>[S-1]山口宇部空港による広域的利便性 [S-2]主要な幹線道路、公共下水道等の都市施設の充実 [S-3]常盤公園等の都市公園の充実 [S-4]豊かな自然環境（小野湖、荒滝山、霜降山など） [S-5]犯罪、交通事故、火災件数の減少 [S-6]NPOなど市民活動団体の取組が活発 [S-7]緑が豊富で、市民レベルの緑化活動で先進的な歩みがある [S-8]公営の公共交通手段及びJRが運行している [S-9]人口10万人台の地方都市でありながら百貨店がある [S-10]人口規模に比して風俗店が少ない [S-11]市街地に川が流れているという景観がある [S-12]市街地に海に近い [S-13]産業観光を受け入れる企業が存在する [S-14]女性の社会進出意欲が旺盛である（男女共同参画宣言都市） [S-15]渡辺翁記念会館の存在 [S-16]大学等高等教育機関が充実している [S-17]医学部と大学病院の存在</p> <p>【取組み】</p> <p>[S-18]環境の取組み（グローバル500賞、環境大臣賞の受賞） [S-19]彫刻のまちづくり [S-20]自転車利用促進事業が展開されている [S-21]宇部地域 SNS の開設</p> <p>【市民等意識・評価（満足度等）】</p> <p>[S-22]住みやすいと思っている市民が多い [S-23]総合的な交通体系（特に幹線道路の整備）の満足度が高い [S-24]環境共生都市づくりへの満足度が高い [S-25]環境分野での協働の意向が高い</p>	<p>【現状】</p> <p>[W-1]人口減少、高齢者の増加 [W-2]少子化による人口の自然減少 [W-3]転入者の減少による人口の社会減少 [W-4]若年層の流出 [W-5]中心市街地の求心力の低下 [W-6]公共交通の利用者の減少 [W-7]厳しい財政状況 [W-8]市内への道路アクセスが分かりづらい [W-9]市街地周辺に照明が少なく、夜が暗い [W-10]市街地へのマンション建設により地域コミュニティが希薄化している [W-11]政治への関心、意識（投票率）が低い [W-12]河川・海などの親水空間が活用されていない [W-13]企業の正規雇用が少ない [W-14]市内の賃金水準が低い [W-15]中心市街地に歩きたくない空間がない [W-16]常盤公園の来園者数が減少している</p> <p>【市民等意識・評価（満足度等）】</p> <p>[W-17]公共交通機関が不便 [W-18]娯楽・レジャー施設の不足 [W-19]環境・彫刻のまちとしての認知度が低い [W-20]若者の住みやすさ、愛着が低い [W-21]若者の転出意向が高い [W-22]防犯・防災対策の満足度が低い [W-23]大気、水質汚濁の問題意識が高い [W-24]彫刻への関心、興味が少ない [W-25]郷土の歴史に対する認知度が低い</p>

宇部市の外部環境

成長機会 (Opportunity)	【成長のための戦略】	【改善のための戦略】
<p>【トレンド（社会的背景）】</p> <p>[O-1]地方分権社会の進展 [O-2]ライフスタイルの変化・多様化 [O-3]情報通信技術の発達 [O-4]地球環境問題への意識の高まり [O-5]社会への貢献意識の高まり [O-6]安全・安心に対する意識の高まり [O-7]心の豊かさへの意識の高まり [O-8]ふるさと納税制度の創設</p> <p>【市民ニーズ（重要度・優先度）】</p> <p>[O-9]中心都市としての機能や生活環境の整備に関する優先度が高い [O-10]安全安心に関する重要度・優先度が高い [O-11]環境共生都市づくりの重要度が高い</p>	<p>地球環境問題への意識の高まりを活かし、市民（特に前期高齢者）との協働による環境保全・美化、太陽光発電、エコカーの促進や公共交通の利用促進に関する取組を推進し、オール宇部市による環境共生都市づくりを推進する。[S-6,S-18,S-20,S-25 / O-4,O-11]</p> <p>かつて「緑の町宇部」と呼ばれた景観を復活させるため、NPO団体との協働による市民レベルの市街地の緑化と市街地の親水空間とによる独自の景観形成を推進する。[S-6,S-7,S-11,S-25 / O-5,O-9]</p>	<p>本市独自のコンパクトシティー化を目指し、効率的な公共交通の活用により、中心部のコンパクトシティーと市街地周辺部のサテライト的コンパクトシティーに向けた整備を推進する。<b>（優先戦略）</b> [W-1,W-5,W-6,W-7,W-17 / O-2,O-4,O-9]</p> <p>環境意識の高まりを生かし、公共交通の利用促進とあわせ、市民、特に高齢者が自転車と徒歩で回遊できる街なか空間の創造を目指す。 [W-5,W-6,W-12,W-15 / O-4,O-9,O-11]</p> <p>本市で学ぶ多くの学生に目を向けるとともに、若者の市外への流出を抑制する上からも、学生が住みやすい生活環境づくりや魅力とにぎわいのある街なか空間を創出する。また市民と学生との交流の機会を創出していく。<b>（優先戦略）</b> [W-4,W-5,W-15,W-20,W-21 / O-9]</p> <p>高齢者、女性などの独居生活者も安心して暮らせる環境整備とコミュニティの充実を図る。 [W-1,W-9,W-10,W-22 / O-6,O-10]</p> <p>彫刻に市民が親しみや関心を持ち、清掃活動をはじめ、市民ぐるみで取り組める施策を展開する。 [W-16,W-19,W-24 / O-5,O-7]</p> <p>宇部新川駅周辺の大掛かりな整備によるバスセンターの充実とJR宇部線の利用客の拡大を図る。 [W-5,W-6 / O-9]</p>
脅威 (Threat)	【強化のための戦略】	【改革のための戦略】
<p>【トレンド（社会的背景）】</p> <p>[T-1]人口減少、少子高齢社会 [T-2]地球規模の環境問題の顕在化 [T-3]行財政改革の必要性 [T-4]経済のグローバル化による景気低迷 [T-5]北九州空港の開港と岩国基地民間機乗り入れ</p>	<p>高齢化が進む中で、中山間地域や郊外の各地域内での移動や地域間及び中心市街地への移動の手段を確保するため、より利便性・効率性の高い生活交通に見直す。 [S-6,S-8 / T-1,T-2,T-3]</p> <p>人口減少が予測されている中で、道路をはじめとした都市環境について、面的・量的整備から質的整備に軸足を移し、適切な維持管理及び更新を進め、誰もが住みやすい質の高い生活環境づくりを推進する。（量から質への転換）[S-2,S-3,S-22,S-23 / T-1,T-3,T-4]</p>	<p>常盤公園を健康志向型の自然を生かした都市公園として整備する方向性も含め、今後の整備方針を定めた上で効果的な整備を進める。 [W-7,W-16 / T-1,T-3,T-4]</p>

赤字は優先戦略を示す。